リリースノート
SANtricity 11.8

NetApp
April 05, 2024

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/e-series-santricity/whats-new.html on April 05, 2024. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

リリースノート 1
SANtricity OS 11.80の新機能 1
リリースノート 3

リリースノート

SANtricity OS 11.80の新機能

次の表に、SANtricity System Manager 11.8の新機能を示します。

バージョン**11.80**の新機能

新機能	説明
強化されたボリュームパリティスキャン	REST APIまたはCLIを使用して、ボリュームパリティスキャンをバックグラウンドプロセスとして起動できるようになりました。パリティスキャンは、スキャン処理を完了するために必要な限りバックグラウンドで実行されます。スキャン処理は、コントローラのリブートおよびフェイルオーバー処理の間も維持されます。
Unified ManagerでのSAMLのサポート	Unified ManagerでSecurity Assertion Markup Language（SAML）がサポートされるようになりました。Unified ManagerでSAMLを有効にすると、ユーザインターフェイスを操作するために、アイデンティティプロバイダに対して多要素認証を使用する必要があります。Unified ManagerでSAMLを有効にすると、IdPを経由せずにREST APIを使用して要求を認証することはできません。
自動構成機能	アレイの初期セットアップ時に自動構成機能で使用するボリュームのブロックサイズパラメータを設定できるようになりました。この機能は、CLIでは「blocksize」パラメータとしてのみ使用できます。
コントローラファームウェアの暗号化署名	コントローラファームウェアは暗号署名されています。シグネチャは、初回ダウンロード時および各コントローラのブート時にチェックされます。エンドユーザへの影響はありません。署名は、CAによって発行された拡張検証証明書によって裏付けられます。
ドライブファームウェアの暗号化署名	ドライブファームウェアは暗号署名されています。署名は最初のダウンロード時にチェックされ、CAによって発行された拡張検証証明書によってバックアップされます。ドライブファームウェアの内容がZIPファイルとして提供されるようになりました。ZIPファイルには、署名済みの古いファームウェアと署名済みの新しいファームウェアが含まれています。ユーザーは、ターゲットシステムで実行されているコードのリリースバージョンに基づいて適切なファイルを選択する必要があります。

新機能	説明

外部キーサーバ管理-証明書のキーサイズ	新しいデフォルトの証明書キーサイズは3072ビット（2048から）です。最大4096ビットのキーサイズがサポートされます。デフォルト以外のキーサイズをサポートするには、NVSRAMビットを変更する必要があります。
	
	キーサイズの選択値は次のとおりです。
	
	• デフォルト= 0
	• 長さ2048 = 1
	• 長さ3072 = 2
	• 長さ4096 = 3
	
	SMcliを使用してキーサイズを4096に変更するには、次の手順を実行します。
	
	`set controller[b] globalnvsrambyte[0xc0]=3; set controller[a] globalnvsrambyte[0xc0]=3;`
	
	キーのサイズを調べます。
	
	`show allcontrollers globalnvsrambyte[0xc0];`

ディスクプールの改善	11.80以降を実行しているコントローラで作成されたディスクプールは、_Version 0_poolsではなく_Version 1_poolsになります。_Version 1_diskプールが存在する場合、ダウングレード操作は制限されます。 ストレージアレイプロファイルでディスクプールのバージョンを特定できます。
System ManagerとUnified Managerは、ブラウザの最小要件を満たしていないと起動しません。	System ManagerまたはUnified Managerを起動するには、少なくともバージョンのブラウザが必要です。サポートされる最小バージョンは次のとおりです。 • Firefoxの最小バージョン80 • Chrome最小バージョン89 • エッジ最小バージョン90 • Safariの最小バージョン14
FIPS 140-3 NVMe SSDドライブのサポート	NetApp認定のFIPS 140-3 NVMe SSDドライブがサポートされるようになりました。これらは、ストレージアレイプロファイルおよびSystem Managerで正しく識別されます。
EF300およびEF600でのSSD読み取りキャッシュのサポート	SAS拡張構成のHDDを使用するEF300およびEF600コントローラでSSD読み取りキャッシュがサポートされるようになりました。

新機能	説明
EF300およびEF600でのiSCSIとFibre Channelの非同期リモートミラーリングのサポート	NVMeおよびSASベースのボリュームを使用するEF300およびEF600コントローラで非同期リモートミラーリング（ARVM）がサポートされるようになりました。
ベーストレイにドライブを搭載しないEF300およびEF600をサポート	ベーストレイにNVMeドライブを搭載しないEF300およびEF600コントローラ構成がサポートされるようになりました。
すべてのプラットフォームでUSBポートが無効になっている	すべてのプラットフォームでUSBポートが無効になりました。

リリースノート

このサイトにはリリースノートがありません。ネットアップサポートサイトのクレデンシャルでログインするように求められます。

- "11.80リリースノート"
- "11.70 リリースノート"
- "11.60 リリースノート"
- "11.50 リリースノート"

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、http://www.netapp.com/TMに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。